

## 2010 年度 工学研究科デザイン科学専攻 (デザイン科学) 授業科目一覧表

| 授業コード     | 授業科目名                    | 単位数 | 開講時限等    | 担当教員                                | 頁     |
|-----------|--------------------------|-----|----------|-------------------------------------|-------|
| T25300101 | デザイン・イノベーション             | 2.0 | 前期木曜 5 限 | 各教員                                 | 後デ 2  |
| T25300301 | 人工物感性論                   | 2.0 | 前期月曜 5 限 | 青木 弘行 <sup>他</sup>                  | 後デ 2  |
| T25300401 | 生活デザイン心理学                | 2.0 | 前期金曜 4 限 | 日比野 治雄 <sup>他</sup>                 | 後デ 3  |
| T25300501 | デザイン文化論                  | 2.0 | 前期水曜 4 限 | 鈴木 直人 <sup>他</sup>                  | 後デ 4  |
| T25300601 | 人工物デザイン史論                | 2.0 | 後期集中     | (松尾 恒一)                             | 後デ 5  |
| T25300701 | メディアデザイン情報論              | 2.0 | 後期火曜 5 限 | 桐谷 佳恵 <sup>他</sup>                  | 後デ 5  |
| T25300801 | 行動環境デザイン論                | 2.0 | 前期金曜 2 限 | 佐藤 公信                               | 後デ 6  |
| T25300901 | 産業デザイン論                  | 2.0 | 前期月曜 2 限 | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 後デ 7  |
| T25301001 | エコデザイン論 2                | 2.0 | 前期金曜 3 限 | UEDA EDILSON<br>SHINDI <sup>他</sup> | 後デ 7  |
| T25301101 | ケアデザイン論                  | 2.0 | 後期月曜 4 限 | 下村 義弘 <sup>他</sup>                  | 後デ 8  |
| T25301201 | 異なるデザイン領域習得プログラム         | 2.0 | 通期集中     | 各教員                                 | 後デ 9  |
| T25301501 | 海外大学アライアンスプログラム          | 2.0 | 通期集中     | 各教員                                 | 後デ 10 |
| T25301601 | デザイン・インターンシップ・プログラム      | 2.0 | 通期集中     | 渡邊 誠                                | 後デ 10 |
| T25301701 | 産学連携デザイン・プロジェクト・ワーク      | 2.0 | 通期集中     | 各教員                                 | 後デ 10 |
| T25302201 | 環境人間工学特論                 | 2.0 | 前期水曜 5 限 | 勝浦 哲夫 <sup>他</sup>                  | 後デ 11 |
| T25302301 | 人間情報科学特論                 | 2.0 | 後期月曜 5 限 | 岩永 光一                               | 後デ 11 |
| T25302401 | サービス・デザイン・ストラテジー II      | 2.0 | 前期金曜 4 限 | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 後デ 12 |
| T25302501 | デザイン・ソリューション・プランニング II   | 2.0 | 後期火曜 3 限 | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 後デ 13 |
| T25302601 | サービス・デザイン・ストラテジー演習 II    | 2.0 | 前期金曜 5 限 | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 後デ 14 |
| T25302701 | デザイン・ソリューション・プランニング演習 II | 2.0 | 後期火曜 4 限 | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 後デ 14 |
| T25399801 | 特別演習 II(デザイン科学)          | 2.0 | 通期集中     | 各教員                                 | 後デ 15 |
| T25399901 | 特別研究 II(デザイン科学)          | 4.0 | 通期集中     | 各教員                                 | 後デ 15 |
| T20000101 | ベンチャービジネス論               | 2.0 | 前期水曜 5 限 | 斎藤 恭一 <sup>他</sup>                  | 後デ 15 |
| T20000201 | ベンチャービジネスマネジメント          | 2.0 | 後期水曜 5 限 | 斎藤 恭一 <sup>他</sup>                  | 後デ 16 |
| T20000301 | 技術者倫理                    | 2.0 | 後期金曜 5 限 | (滝口 孝一)                             | 後デ 17 |
| T20000401 | 技術完成力プログラム               | 2.0 | 前期水曜 4 限 | 藤井 知                                | 後デ 17 |
| T20000501 | 技術経営力プログラム               | 2.0 | 後期水曜 4 限 | 井上 里志                               | 後デ 18 |

授業科目名： デザイン・イノベーション

科目英訳名： Design Innovation

担当教員： 各教員

単位数： 2.0 単位

授業コード： T25300101

開講時限等： 前期木曜 5 限

講義室： 工 1 号棟 310 意匠系会議室

#### 科目区分

2010 年入学生： 必修科目 S10 ( T261:工学研究科デザイン科学コース (後期))

#### [授業の方法]

[授業概要] イノベーションとは、一般的には技術革新と理解されているが、デザインにおけるイノベーションは関連する技術分野に景況を及ぼすだけでなく、そこから得られる技術的成果は経済的にも文化的にも人間生活のあらゆる側面に大きな影響を及ぼしていく。本講においては、各専門領域を担当す教員が協同してイノベーションの意味を解き明かし、デザインにおける価値の体系化を試みる。

[目的・目標] イノベーションについて、様々な視点から考えを巡らせる能力を身につけることを目的とする。

[授業計画・授業内容] 本講においては、各専門領域を担当す教員が協同してイノベーションの意味を解き明かし、デザインにおける価値の体系化を試みる。

[キーワード] Design innovation, value-creation, cross-disciplinary, diversity

[評価方法・基準] 出席 40 % , 各教員によるレポート・課題など 60%

授業科目名： 人工物感性論

科目英訳名： Material Science in Artifact and Kansei

担当教員： 青木 弘行, 久保 光徳

単位数： 2.0 単位

授業コード： T25300301

開講時限等： 前期月曜 5 限

講義室： 創造工学 2F

#### 科目区分

2010 年入学生： 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期) , T252:工学研究科都市環境システムコース (後期) , T261:工学研究科デザイン科学コース (後期) , T271:工学研究科機械系コース (後期) , T272:工学研究科電気電子系コース (後期) , T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期) , T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

#### [授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 10 名程度

[授業概要] 人間の五感をはじめとする各種感覚特性やそこから派生する感性の諸相を一連のシステムとして体系的に位置づけ、これらを評価・解析するための手法や設計に反映させるための手立てについて考究する。また、人と材料との関係、さらにはその材料によって構成される人工物と人との関係について最適設計論的観点から考究する。

[目的・目標] 一般目標：デザインにおける材料関連問題に対して、人工物と感性との関係を一連のシステムとして把握し、それらの関係を適切に評価し得る能力を得る。達成目標：? 「人工物」を再認識する、? 「感性」の定義を学ぶ、? 人工物に対する基礎的な感覚、感性について学ぶ、? 「人工物が創造される」ということを感性の視点から考察し、そこに存在する創造される価値について考察する。

[授業計画・授業内容] デザイン的創造過程を人工物と感性との関係において考察する場を提供する。前半においては、具体的な構造体の形から受ける感覚的な要素と構造的な要素との関係を実感をもって認識できるように講義を展開する。後半では、新しい価値を創造することの意味を演習をもって体得できるように講義を展開する。各週ごとに課題を提示し、講義時間内においては課題に対する検討内容の発表とディスカッションを繰り返すことで、人工物と人との本質的な関係に考察が及ぶように誘導する。

1. 形と感性 (1)
2. 形と感性 (2)
3. 形と感性 (3)
4. 数理と感性 (1)
5. 数理と感性 (2)
6. 数理と感性 (3)

7. 中間報告会
8. 感性価値創造事例の収集 (1)
9. 感性価値創造事例の収集 (2)
10. 感性価値創造事例の分類 (1)
11. 感性価値創造事例の分類 (2)
12. 感性価値創造事例に対する講述 (1)
13. 感性価値創造事例に対する講述 (2)
14. 感性価値創造事例に対する講述 (3)
15. 最終報告会

[キーワード] デザイン科学, 人工物, 感性

[教科書・参考書] 「工業デザインのための材料知識」, 岩井, 青木著, 日刊工業新聞社

[評価方法・基準] 課題の提出状況, その考察内容, 発表の内容および取り組み方によって評価する。4/5 以上の出席が必要。

[関連科目] デザイン・イノベーション 2

[履修要件] 特になし

[備考] 質問は適宜受け付ける。

T25300401

授業科目名: 生活デザイン心理学

科目英訳名: Design psychology for human life

担当教員: 日比野 治雄, 寺内 文雄

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 前期金曜 4 限

授業コード: T25300401

講義室: 工 1 号棟 310 意匠系会議室

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 10 名程度

[授業概要] 心理学の領域における知見を応用し, 心理学的視点からデザインに関連した諸問題について考察するのがデザイン心理学 (design psychology) である。本科目では, デザイン心理学およびそれに関連した感性工学におけるさまざまな問題を取り上げる。

[目的・目標] よりよいデザインを志向する基礎として, 人間のさまざまな行動および心理に関する知見は必須である。このようなデザイン心理学の視点からデザインの諸問題について考察する。あわせて, 感性工学的な観点からのアプローチについても最近の文献を講読しながら検討を加えてゆく。

[授業計画・授業内容] 人間にとってよりよいデザインを実現するためには人間の心理特性および感性に対する正しい理解が必要である。そのため, 本科目ではデザイン心理学と感性工学における諸問題についてより高度な観点から検討を加える。

1. はじめに: 授業内容の説明と予定について
2. デザイン心理学に関連した問題について (1)
3. デザイン心理学に関連した問題について (2)
4. デザイン心理学に関連した問題について (3)
5. デザイン心理学に関連した問題について (4)
6. デザイン心理学に関連した問題について (5)
7. デザイン心理学に関連した問題について (6)
8. デザイン心理学に関連した問題について (7)
9. 感性工学に関連した問題について (1)
10. 感性工学に関連した問題について (2)

11. 感性工学に関連した問題について ( 3 )
12. 感性工学に関連した問題について ( 4 )
13. 感性工学に関連した問題について ( 5 )
14. 感性工学に関連した問題について ( 6 )
15. 感性工学に関連した問題について ( 7 )

[キーワード] デザイン心理学, 感性工学, 人間行動, 知覚, 触覚

[教科書・参考書] 最初のガイダンスにおいて指示する。

[評価方法・基準] 出席 : 30 % ; ミニレポート : 30 % ; 発表 40 %

[備考] 授業内容は都合により変更する場合がある。

T25300501

授業科目名 : デザイン文化論

科目英訳名 : Human Life Design

担当教員 : 鈴木 直人, 植田 憲

単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 前期水曜 4 限

授業コード : T25300501

講義室 : 工 2 号棟 207

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース ( 後期 ) , T252:工学研究科都市環境システムコース ( 後期 ) , T261:工学研究科デザイン科学コース ( 後期 ) , T271:工学研究科機械系コース ( 後期 ) , T272:工学研究科電気電子系コース ( 後期 ) , T273:工学研究科メディカルシステムコース ( 後期 ) , T281:工学研究科共生応用化学コース ( 後期 ) )

[授業の方法] 講義

[授業概要] 生活環境の創生において堅持するデザイン実践の理念を多様な観点から考察する。とくに、グローバル化のなかで急激に変化する社会の生活づくりのデザインには、地域のより明確な文化要因の把握と課題の抽出が必要である。デザイン機能の構成要因における文化要因を目的指向型分析手法で明確にする

[目的・目標] 受講生が、生活創生のデザイン実践のための目的指向型分析手法の理解を理解し、研究課題の抽出ができる能力を養う。

[授業計画・授業内容]

1. グローバリゼーションにおける生活創生デザインの課題。
2. 目的指向問題解決手法の基礎知識、
3. 目的指向問題解決手法の実践、事例を使得の手法の習得
4. 目的指向問題解決手法の実践、事例を使得の手法の習得
5. 生活創生デザインの課題分析
6. 生活創生デザインの課題分析、レポート提出
7. 生活創生デザインの課題分析
8. 生活創生デザインの課題分析、レポート提出
9. 生活創生デザインの課題分析
10. 生活創生デザインの課題分析、レポート提出
11. 生活創生デザインの課題分析
12. 生活創生デザインの課題分析、レポート提出
13. 受講生の研究課題の抽出と整理
14. 受講生の研究課題の抽出と整理
15. 受講生の研究課題の抽出と整理

[キーワード] Objective Oriented Program Planning ( OOPP ), Human society, Globalization

[評価方法・基準] 受講生各自提出するレポートを評価、課題の抽出が、論理的活、現実的かにより評価

授業科目名：人工物デザイン史論  
 科目英訳名：Design History of Artifacts  
 担当教員：(松尾 恒一)  
 単位数：2.0 単位  
 開講時限等：後期集中  
 授業コード：T25300601  
 講義室：

## 科目区分

2010 年入学生：選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

## [授業の方法] 講義

[授業概要] 人工物のデザインが人間社会の形成と発展に寄与してきた功績は大きい。各種の歴史的資料に基づきながら、人工物の発生・展開・変容の諸側面を時代的特性と関連付けながら解析し、人工物デザインの生成と発展のメカニズムについて考察する。

[目的・目標] 受講者が、人工物に対して、色や形といった一面的な見方をするのではなく、人間の生活様式としての文化の形成に資する観点から、多面的に人工物を捉え解析することのできる資質を涵養することを目的とする。

## [授業計画・授業内容]

1. 人工物の歴史的解析の視点 伝承され、更新される人工物
2. 祭祀空間としての建築 (イエ)
3. 日本の建築素材 (樹木) と建築儀礼
4. 人工物の発生・展開・変容と人間生活 1～一年の生活と人工物 (正月と供物・注連、等)
5. 人工物の発生・展開・変容と人間生活 2～一年の生活と人工物 (盆と燈籠、等)
6. 日本における人工物デザインの特質～職能と道具の民俗
7. 日本における人工物デザインの特質～仮面、神仏・精霊の造形
8. 日本における人工物デザインの特質～儀礼の歴史的展開と諸文化の生成～
9. 日本における人工物デザインの特質～祭礼と芸能～
10. 日本における人工物デザインの特質 1～舞台と劇場 パフォーマンスの空間 の発生と展開
11. 日本における人工物デザインの特質 2～舞台と劇場 パフォーマンスの空間 の発生と展開
12. 日本の宗教儀礼と造形 1
13. 日本の宗教儀礼と造形 2
14. 日本の宗教儀礼と造形 3
15. まとめ、レポート提出

[キーワード] Design History, Artifacts, Human Society, Ethnology

[教科書・参考書] 授業のなかで紹介する。

[評価方法・基準] レポート・課題・発表 80 %、出席 20 %で採点して評価する。

授業科目名：メディアデザイン情報論  
 科目英訳名：Theory of Media Design  
 担当教員：桐谷 佳恵, 玉垣 庸一  
 単位数：2.0 単位  
 開講時限等：後期火曜 5 限  
 授業コード：T25300701  
 講義室：工 1 号棟 310 意匠系会議室

## 科目区分

2010 年入学生：選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] コミュニケーションデザインに関連する最新研究の紹介や文献講読等。

[目的・目標] 具体的事例を通じて、コミュニケーションデザイン研究の内容や方法を理解する。また、広く関連研究に触れ、デザイン学全般にわたる考察も深める。

[授業計画・授業内容]

1. ガイダンス 授業内容や実施方法を確認する。
2. コミュニケーションデザインの研究とは？ 電子辞書インターフェースデザインの研究を一例として、解説する。
3. 情報の視覚化について 時間管理ツールデザインの研究を一例として、解説する。
4. 人の認知機能とデザイン 路線図デザインの研究を一例として、解説する。
5. コミュニケーション支援研究 専門家と非専門家のコミュニケーションを支える研究として、動物愛護教育プログラムのデザインを一例として、解説する。
6. 暗黙知数値化の試み フォントデザインの研究を一例として、解説する。
7. 色彩認知と表現 明度と色相の認知特性と、それを考慮したデザイン表現の研究を一例として、解説する。
8. 文献講読 1 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
9. 文献講読 2 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
10. 文献講読 3 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
11. 文献講読 4 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
12. 文献講読 5 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
13. 文献講読 6 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
14. 文献講読 7 指示した資料の中から文献を選択し、紹介、議論する。
15. 総括 コミュニケーションデザイン研究について議論する。

[キーワード] Communication design, Visualization, Psychological properties, Psychological measurement

[教科書・参考書] 授業中に適宜指示する。

[評価方法・基準] レポートで評価する。

T25300801

授業科目名： 行動環境デザイン論

科目英訳名： Behavioral Environment Design

担当教員： 佐藤 公信

単位数： 2.0 単位

開講時限等： 前期金曜 2 限

授業コード： T25300801

講義室： 工 3 号棟 203

科目区分

2010年入学生： 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期) )

[授業の方法] 講義

[受入人数] 10

[授業概要] 人間の行動や心理の様態と周囲の状況との関わりを把握し、望ましい環境づくりに貢献するデザインのありようを探る。

[目的・目標] 具体的な事例に基づき、人の「居方」に対する考察を行う。また、人々の行動のきっかけとなる様々な環境構成要素について、ディスカッションを行い、望ましい環境のあり方を考察する。

[授業計画・授業内容] 日常生活空間における行動観察調査や、実験を通して、行動心理に基づいた環境作りの手法に触れる。

1. ガイダンス
2. 環境心理学と環境デザインについて
3. 日常空間における人々が「好ましい」と感じる「居方」について
4. 学外調査 1
5. 調査に基づくディスカッション、考察

6. 環境デザインに関連する調査手法 1
7. 環境デザインに関連する調査手法 2
8. 環境デザインに関連する調査手法 3
9. 人々の行動に影響を与える環境構成要素について
10. 環境心理学に基づいた実験 1
11. 環境心理学に基づいた実験 2
12. 環境心理学に基づいた実験 3
13. 実験結果に対するディスカッション
14. 環境デザインへの適用
15. まとめ・レポート

[キーワード] Human behavioral psychology, Built environment, Environmental design

[教科書・参考書] 授業内で適宜指示する

[評価方法・基準] 出席回数、及びレポートを評価対象とする。

T25300901

|   |   |
|---|---|
| 授業科目名： 産業デザイン論<br>科目英訳名： Industrial Design<br>担当教員： 渡邊 誠, (御園 秀一), (渡邊 慎二)<br>単位数： 2.0 単位<br>授業コード： T25300901 | 開講時限等： 前期月曜 2 限<br>講義室： 工 1 号棟 310 意匠系会議室 |
|---|---|

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期) )

[授業の方法] 講義

[授業概要] 産業デザインの領域は拡大の一途をたどっている。そのため、デザイン行為あるいはデザイン対象そのものをシステムとしてとらえることが必須とされている。そこでこのようなデザイン行為やデザイン対象におけるシステムをどのようにとらえ構築するかについてその方法と応用例について論ずる。また企業におけるデザインについても論ずる。

[目的・目標] 産業デザインのデザイン行為やデザイン対象におけるシステムをどのようにとらえ構築するかについてその方法と応用例について論ずる。また企業におけるデザインについても論ずる。

[授業計画・授業内容] 産業デザインのデザイン行為やデザイン対象におけるシステムをどのようにとらえ構築するかについてその方法と応用例について論ずる。また企業におけるデザインについても論ずる。

[キーワード] Industrial Design, Design Theory, Design Management

[評価方法・基準] レポートなど

T25301001

|  |  |
|--|--|
| 授業科目名： エコデザイン論 2<br>科目英訳名： Ecodesign 2<br>担当教員： UEDA EDILSON SHINDI, 木下 剛<br>単位数： 2.0 単位<br>授業コード： T25301001 | 開講時限等： 前期金曜 3 限<br>講義室： 工学系総合研究棟 7 階 1 号 |
|--|--|

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期) )

[授業の方法] 講義

[受入人数] 20 名程度

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 前半は、ランドスケープデザインのコンセプトメイキングや具体の計画設計、施工管理、利活用の各フェーズにおいて、環境調和というテーマをどのように内化していくべきかについて、これまでの取り組みを検証しながら議論する。後半は、環境調和型製品の開発とそのビジネスやサービスの展開方法等を通じた持続可能な社会構築に関して論述する。

[目的・目標] 前半は、環境調和を考えたランドスケープデザインのコンセプトメイキングの手法について理解する。後半は、環境調和型製品設計とその実現化技術、ライフサイクル・マネジメント等に関する実践、理論研究、戦略、実現化技術等について技術的視点からのみならず、社会的、法的、経済的、文化的視点から幅広く論述する。

[授業計画・授業内容] 環境調和型製品設計・環境調和を考えたランドスケープデザイン

1. 授業内容の説明と予定について (木下 剛/Ueda Edilson)
2. 都市経営と環境共生 (木下 剛) (1)
3. 生物多様性と空間デザイン (2)
4. 環境資源を資産化するランドスケープデザイン (3)
5. 環境インフラとしてのコミュニティ開発 (4)
6. 農環境の再生と空間計画 (5)
7. 水資源の管理と流域圏の再生 (6)
8. 人口減少社会における自然環境の再生 (7)
9. エコデザインとライフサイクル (Ueda Edilson) (1)
10. エコデザイン戦略の運用 (2)
11. コンセプトの実現可能性の調査 (3)
12. 最も確実なコンセプトの選定 (4)
13. 新しいエコデザインの普及 (5)
14. 新技術とエコデザイン (6)
15. エコサービスの創造と選定 (7)

[キーワード] Sustainable design, Eco-product, Eco-service, Landscape planning, Ecological planning, Environmental regeneration

[教科書・参考書] そのつど指示します。

[評価方法・基準] 学習意欲、ディスカッション、課題の内容を総合的に評価します。出席：40%、レポート20%、テスト40% (予定)

[関連科目] エコデザイン論 (1) は理論的な内容となります。

[履修要件] エコデザイン論 (1) を履修していることが望ましい。

[備考] エコデザイン論 (1) を履修していることが望ましい。大学院工学研究科との共催科目です。前半 (1~7 回) の授業は園芸学研究所の木下剛先生が担当します。なお、授業は西千葉キャンパス (工学部) にて行われますので注意してください。

T25301101

授業科目名：ケアデザイン論

科目英訳名：Theory of Care Design

担当教員：下村 義弘, 岩崎 寛, (三宅 徳久)

単位数：2.0 単位

開講時限等：後期月曜 4 限

授業コード：T25301101

講義室：工 2 号棟 101 教室

科目区分

2010 年入学生：選択科目 S30 (T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 100 名



[受講対象] 本学大学院学生

[授業概要] 高齢社会を迎え、生活弱者に対する配慮は益々必要になってきている。ケアデザイン論では、園芸学、デザイン科学の観点から生活弱者を支援するための環境やモノのデザインのあり方について講義する。

[目的・目標] 高齢者などの生活弱者を支援するために必要な人間科学の知識について、園芸学、デザイン科学の観点から講義し、生活弱者を支援するための環境やモノのあり方を学ぶ

[授業計画・授業内容]

1. ケアデザインと人間工学
2. 生活弱者と温熱環境
3. 生活弱者と光環境
4. 生活弱者と住環境
5. 生活弱者と生体リズム
6. 生活弱者を支援する機器&#8722;1
7. 生活弱者を支援する機器&#8722;2
8. 公共緑地におけるケアデザイン
9. 植栽の現場でのケアデザイン-1
10. 植栽の現場でのケアデザイン-2
11. 植栽の現場でのケアデザイン-3
12. 海外におけるケアデザイン
13. パターンランゲージを用いたケアデザインの提案-1
14. パターンランゲージを用いたケアデザインの提案-2

[キーワード] Horticultural therapy, Universal design, Ergonomic design, Welfare device

[評価方法・基準] 中間試験, 期末試験を実施し, その得点で評価する。

T25301201

授業科目名: 異なるデザイン領域習得プログラム

科目英訳名: Design Cross-Fertilization Program

担当教員: 各教員

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 通期集中

授業コード: T25301201

講義室:

科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期) )

[授業の方法] 講義

[授業概要] 他専攻のデザイン系のデザイン研究に関する授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する。

[目的・目標] 他専攻のデザイン系のデザイン研究に関する授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する。

Design, Cross-Fertilization Research-Program

[授業計画・授業内容] 他専攻のデザイン系のデザイン研究に関する授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する

[キーワード] Design, Cross-Fertilization Research-Program

[評価方法・基準] 受講する授業については, 事前に担当教員と相談の上決定する。

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301501

授業科目名： 海外大学アライアンスプログラム  
 科目英訳名： Design Alliance Program  
 担当教員： 各教員  
 単位数： 2.0 単位  
 開講時限等： 通期集中  
 授業コード： T25301501  
 講義室：

## 科目区分

2010 年入学生： 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期) )

[授業の方法] 演習

[授業概要] 担当教員が指定する海外提携及び連携大学におけるデザイン研究に関する授業を受講し、かつ事前指導及び事後指導を受講する。

[目的・目標] 海外提携及び連携大学と授業内容については、事前に担当教員と相談の上決定する

[授業計画・授業内容] 海外提携及び連携大学と授業内容については、事前に担当教員と相談の上決定する

[キーワード] Design, Alliance Research-Program

[評価方法・基準] 課題

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301601

授業科目名： デザイン・インターンシップ・プログラム  
 科目英訳名： Design Internship Program  
 担当教員： 渡邊 誠  
 単位数： 2.0 単位  
 開講時限等： 通期集中  
 授業コード： T25301601  
 講義室：

## 科目区分

2010 年入学生： 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期) )

[授業の方法]

[授業概要] 企業のデザイン部門で研究を主体とした実習を行う。

[目的・目標] 企業のデザイン部門において、高度なデザイン開発における実務経験を通して、デザインにおける研究開発の重要性を習得する。

[授業計画・授業内容] 企業のデザイン部門において、高度なデザイン開発における実務経験を通して、デザインにおける研究開発の重要性を習得する。

[キーワード] Internship, Design Development, Inhouse Design

[評価方法・基準] 事前評価、事後評価およびインターンシップ中の評価

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T25301701

授業科目名： 産学連携デザイン・プロジェクト・ワーク  
 科目英訳名： Design Project Work  
 担当教員： 各教員  
 単位数： 2.0 単位  
 開講時限等： 通期集中  
 授業コード： T25301701  
 講義室：

## 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 演習

[授業概要] 大学における研究成果を, 外部提携先 (企業や自治体・団体) との連携により実践する。

[目的・目標] 大学における高度な研究ノウハウをもとに, 提携先とデザイン開発プロジェクトを大学において行う。なおデザイン・リサーチ・プロジェクト・ワークのテーマについては, プロジェクト・マネージャーとなる教員から提示される。

[授業計画・授業内容] 大学における高度な研究ノウハウをもとに, 提携先とデザイン開発プロジェクトを大学において行う。なおデザイン・リサーチ・プロジェクト・ワークのテーマについては, プロジェクト・マネージャーとなる教員から提示される。

[キーワード] Design Project, Joint Work, Design Practice

[評価方法・基準] 課題

[備考] なおこの授業については事前にプロジェクト・マネージャーに受講許可を取ること。

T25302201

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 授業科目名: 環境人間工学特論<br>科目英訳名: Topics in Environmental Ergonomics<br>担当教員: 勝浦 哲夫, 下村 義弘<br>単位数: 2.0 単位<br>授業コード: T25302201 | 開講時限等: 前期水曜 5 限<br>講義室: 各研究室 |
|---|------------------------------|

科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 10 名程度

[受講対象] 本学大学院博士後期課程学生

[授業概要] 各受講生は, 環境人間工学に関する英文学術論文を調査、精読し、その内容を発表する。教員、受講生による質疑応答を行う。

[目的・目標] 世界的レベルでの研究の動向を把握し、その内容に関する知識と理解を深める。

[授業計画・授業内容] 各担当教員の初回授業では、担当教員のガイダンス・講義により、調査する文献資料の研究領域を設定する。各受講生は、自らの研究テーマとの整合性も考慮して設定された領域に関する英文学術論文の調査を行い精読する。その後の授業では、各受講生による文献資料の内容に関する発表を行い、教員および他の受講生による質疑応答を行う。

[教科書・参考書] 必要に応じて授業中に指示する。

[評価方法・基準] 発表の内容および質疑応答への参加状況により、総合的に判定する。

T25302301

|   |  |
|---|--|
| 授業科目名: 人間情報科学特論<br>科目英訳名: Topics in Human Informatics<br>担当教員: 岩永 光一<br>単位数: 2.0 単位<br>授業コード: T25302301 | 開講時限等: 後期月曜 5 限<br>講義室: ( 講義室: 工学部 2 号棟 3 階 302 ( 岩永教員室 )) |
|---|--|

科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義・発表

[授業概要] 人間と情報に関する諸問題について、英文学術論文を資料として考察する。受講学生は、各自の研究テーマに関連した英文学術論文を精読し、その内容をパワーポイントなどのヴィジュアルエイドを用いて発表する。発表では、担当教員および受講学生間で質疑応答を行い、理解を深める。

[目的・目標] 人間と情報に関する諸問題について、研究の対象とすべき本質の問題とそれに対するアプローチについて理解を深めることを目的とする。また、書家の研究事例に対して批判的に論説し、自らの考え・意見を記述する能力の向上を目指す。

[授業計画・授業内容] 受講学生による輪講を行う。

1. 輪講：発表および質疑応答
2. 輪講：発表および質疑応答
3. 輪講：発表および質疑応答
4. 輪講：発表および質疑応答
5. 輪講：発表および質疑応答
6. 輪講：発表および質疑応答
7. 輪講：発表および質疑応答
8. 輪講：発表および質疑応答
9. 輪講：発表および質疑応答
10. 輪講：発表および質疑応答
11. 輪講：発表および質疑応答
12. 輪講：発表および質疑応答
13. 輪講：発表および質疑応答
14. 輪講：発表および質疑応答
15. 輪講：発表および質疑応答

[評価方法・基準] 発表および質疑応答の水準によって評価する。

T25302401

授業科目名： サービス・デザイン・ストラテジー II

科目英訳名： Service Design StrategyII

担当教員： 渡邊 誠, 小野 健太

単位数： 2.0 単位

開講時限等: 前期金曜 4 限

授業コード： T25302401

講義室：

科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 20

[授業概要] サービス&プロダクト・デザインの対象となる製品やシステムをデザインする際に必要な技術的な知識獲得 (主にプロセス論) を目的とする。獲得すべき知識は主に、サービス&プロダクト・デザインの対象となる製品やシステムの開発全般のプロセスの把握と、その各々の曲面で必要とされる技術的な知識とデザインとしての留意点の把握である。

[目的・目標] サービス&プロダクト・デザインの対象となる製品やシステムをデザインする際に必要な技術的な知識獲得 (主にプロセス論) を目的とする。

[授業計画・授業内容]

1. システム開発とサービス・デザイン
2. システム開発とサービス・デザイン
3. 製品とサービスの違い
4. 製品とサービスの違い
5. ITサービスライフサイクル
6. ITサービスライフサイクル
7. ITサービスの管理
8. ITサービスの管理
9. サービスオペレーションについて
10. サービスオペレーションについて
11. サービスオペレーションについて
12. ITサービスマネジメントの導入
13. ITサービスマネジメントの導入
14. ITサービスマネジメントの導入
15. 現場見学

[キーワード] Design Engineering, Product Design, Design Systems

[評価方法・基準] レポートで評価する

T25302501

|                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 授業科目名 : デザイン・ソリューション・プランニング II      |                 |
| 科目英訳名 : Design Solution Planning II |                 |
| 担当教員 : 渡邊 誠, 小野 健太                  |                 |
| 単位数 : 2.0 単位                        | 開講時限等: 後期火曜 3 限 |
| 授業コード : T25302501                   | 講義室 :           |

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 20

[授業概要] サービス&プロダクト・デザイン開発の中でも、ソリューション・ビジネスにおいて必要な知識を獲得する。特に公共性や社会性の高いサービスにおける、製造者・設置者・利用者の3つの各々の観点から様々な問題点を提案し、その解決法について論ずる。具体的にはデザイン課題の発見にともなう、データマイニング、使い勝手における様々な問題から、ユニバーサルデザインまでその対象は多岐にわたる。

[目的・目標] サービス&プロダクト・デザイン開発の中でも、ソリューション・ビジネスにおいて必要な知識を獲得することを目的とする。

[授業計画・授業内容]

1. イントロダクション
2. ユーザビリティ評価
3. ユーザビリティ評価
4. 使いにくさの原因
5. 使いにくさの原因
6. ユーザビリティテストについて
7. ユーザビリティテストの実験計画
8. ユーザビリティテストの実験計画
9. 問題分析
10. 問題分析

11. 問題分析
12. 行動分析
13. 行動分析
14. 行動分析
15. ユーザービリティ評価のまとめ

[キーワード] Public Design Systems, Design Solution, Design Business Model

[評価方法・基準] レポートで評価する

T25302601

|   |                          |
|---|--------------------------|
| 授業科目名 : サービス・デザイン・ストラテジー演習 II<br>科目英訳名 : Service Design Strategy Studio WorkII<br>担当教員 : 渡邊 誠, 小野 健太<br>単位数 : 2.0 単位<br>授業コード : T25302601 | 開講時限等: 前期金曜 5 限<br>講義室 : |
|---|--------------------------|

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 演習

[授業概要] ある対象を取り上げ、実際にサービス&プロダクト・デザインのシステム開発を行い提案する。今まであまりデザインの課題として取り上げることがなかった対象を積極的に取り上げ、デザイン戦略を計画し実際に提案を行う。

[目的・目標] 実践を通して、サービスをデザインする実践的能力を身につける。

[授業計画・授業内容] 提案とクリニックを通じて、提案の質を高めていく。

[評価方法・基準] 最終提案に関するプレゼンテーションで評価する。

T25302701

|  |                          |
|--|--------------------------|
| 授業科目名 : デザイン・ソリューション・プランニング演習 II<br>科目英訳名 : Design Solution Planning Studio Work II<br>担当教員 : 渡邊 誠, 小野 健太<br>単位数 : 2.0 単位<br>授業コード : T25302701 | 開講時限等: 後期火曜 4 限<br>講義室 : |
|--|--------------------------|

#### 科目区分

2010 年入学生: 選択科目 S30 ( T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 演習

[授業概要] 公共性や社会性の高いサービスにおけるサービス&プロダクト・デザインにおいて、製造者・設置者・利用者の3つの各々の観点から様々な問題点を抽出し、その解決案を具体的に提案する。演習では、ユーザー行動分析を中心に調査・分析を行い、データに基づいた提案を行う。

[目的・目標] 実践を通して、サービスをデザインする実践的能力を身につける。

[授業計画・授業内容] 提案とクリニックを通じて、提案の質を高めていく。

[評価方法・基準] 最終提案に関するプレゼンテーションで評価する。

T25399801

授業科目名：特別演習 II(デザイン科学)  
 科目英訳名：Advanced Seminar II  
 担当教員：各教員  
 単位数：2.0 単位  
 開講時限等：通期集中  
 授業コード：T25399801  
 講義室：

## 科目区分

2010 年入学生：必修科目 S10 ( T261:工学研究科デザイン科学コース (後期))

## [授業の方法]

[目的・目標] 各学年において習得したデザインに関する知識、技能を総合する能力を身につけることを目的とする。同時にそれらの能力が充分社会的にも応用でき、かつ、通用する能力かを検討することも目的である。

[授業計画・授業内容] 主にゼミを通じて、配属された研究室の専門性を基に、様々な問題、アイデアについてディスカッションを行う。

[評価方法・基準] 研究室での活動について、総合的に評価を行う。

T25399901

授業科目名：特別研究 II(デザイン科学)  
 科目英訳名：Graduate Research II  
 担当教員：各教員  
 単位数：4.0 単位  
 開講時限等：通期集中  
 授業コード：T25399901  
 講義室：

## 科目区分

2010 年入学生：必修科目 S10 ( T261:工学研究科デザイン科学コース (後期))

## [授業の方法]

[目的・目標] 各学年において習得したデザインに関する知識、技能を総合する能力を身につけることを目的とする。同時にそれらの能力が充分社会的にも応用でき、かつ、通用する能力かを検討することも目的である。

[授業計画・授業内容] 学生は配属された研究室の専門性を基に課題を個別に設定する。設定した課題について、研究室の指導教員からゼミ等を通して随時研究指導を受けながら進める。研究成果は論文としてまとめる。

[評価方法・基準] 予備審査、本審査を通じて評価を行う。

T20000101

授業科目名：ベンチャービジネス論  
 科目英訳名：Venture Business  
 担当教員：斎藤 恭一, (澤田 雅男)  
 単位数：2.0 単位  
 開講時限等：前期水曜 5 限  
 授業コード：T20000101  
 講義室：自然新棟 マルチメディア講義室  
 (「自然新棟 マルチメディア講義室」とは  
 自然科学系総合研究棟 2 号館 2 階の講義室  
 である。)

## 科目区分

2010 年入学生：選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期), T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

## [授業の方法] 講義

[受入人数] 100

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 起業家、投資家、起業コンサルタント、法律・知財関係者を講師に、オムニバス形式で起業とベンチャービジネスの経営の実際について学び、ベンチャービジネス、企業活動への理解を深める。

[目的・目標] 起業家、投資家、起業コンサルタント、法律・知財関係者を講師に、オムニバス形式で起業とベンチャービジネスの経営の実際について学び、ベンチャービジネス、企業活動への理解を深める。

[授業計画・授業内容] 以下のような内容の講義を学内外の講師によるオムニバス形式で行う。

1. ガイダンス (受講者抽選) VBL 加納博文・室清文
2. 「VBL の活動について」 「グラフト重合材料の製品化奮戦記」 VBL 施設長 斎藤恭一
3. 「知的財産権とは - 青色発光ダイオードの特許を例にして」 VBL 施設長 斎藤恭一
4. 「ベンチャービジネスと知的財産権 I」 沢田国際特許事務所 沢田雅男
5. 「ベンチャービジネスと知的財産権 II」 沢田国際特許事務所 沢田雅男
6. 「ベンチャーキャピタリストの役割」 ?未来ネットワーク研究所 佐々岡忠男
7. 「優良ベンチャーの強みと最近の動向」 アッシュインターナショナル Inc. 建入 ひとみ
8. 「キャッシュフロー経営」 沖電気? 関 和彦
9. 「IT 分野の Small Business・スタートアップ、2008 年度版、傾向と対策」 日本インサイトテクノロジー (株) 池和田 暁
10. 「時代のニーズとビジネスチャンス」-環境・エネルギー・食料など- ?光と風の研究所 堀内道 夫
11. 「生き残るベンチャービジネスになるには」 ?アクティブレイインズ平山 喬恵
12. 「千葉大生時代に資本金 0 円で実現させた起業」 NPO 法人 TRYWARP 虎岩 雅明
13. 「バイオベンチャー起業：その夢と実現」 千葉大学名誉教授 五十嵐 一衛
14. 「なのはなコンペ (学生版)」の案内 2008 年度受賞者の紹介 加納 博文・斎藤 恭一
15. 「大学の研究とその実用化」 千葉大学名誉教授 今本 恒雄

[評価方法・基準] レポート、出席、ブログへの書き込みなどを総合して評価する

T20000201

授業科目名：ベンチャービジネスマネジメント

科目英訳名：Venture Business Management

担当教員：斎藤 恭一、(服部 光郎)

単位数：2.0 単位

授業コード：T20000201

開講時限等：後期水曜 5 限

講義室：(ベンチャービジネスラボラトリー 3 階会議室で行う。)

#### 科目区分

2010 年入学生：選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期), T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 20

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 参考にしてください。

資金調達やリスクマネジメント、投資と融資の実際、産官学連携施策、創業支援施策など実際のベンチャーの起業・運営に必要な事柄について講義する。ベンチャービジネスの創成に向けてビジネスプラン・決算書などの作成の実際についてグループ演習で学ぶ。

[目的・目標] 1. ベンチャービジネスの現状と各種の起業支援策について学ぶ。2. 資金調達やビジネスプランの書き方について学ぶ。3. ベンチャーの経営や運営の実際について学ぶ。

[授業計画・授業内容] 以下の内容について講義とグループ演習を併用して授業を行う。

1. ガイダンス・受講者抽選
2. ベンチャー ビジネス概況



3. 新規開業実態状況
4. ベンチャービジネスの会社形態
5. ベンチャービジネスの資金支援
6. 日本のベンチャーキャピタル、投資ファンド
7. 創業・新事業展開等支援施策
8. 産学官連携推施策・産業(地域)クラスター
9. ベンチャービジネスの財務諸表
10. プレーンストーミング& KJ法
11. 起業戦略とビジネスプラン
12. グループ演習: ベンチャービジネス創成
13. グループ演習: ベンチャービジネス創成
14. グループ演習: ベンチャービジネス創成
15. グループ演習発表会・まとめ

[教科書・参考書] 授業の都度配布プリントにより講義する。参考文献として以下のものを勧めます。1) ベンチャー企業の経営と支援: 松田修一監修、日本経済新聞社 2) ベンチャーハンドブック: 水野博之監修、日刊工業新聞社 3) アントレプレナーの戦略的思考技術: 大江建監訳、ダイヤモンド社 4) 事業計画書の作り方: ネットワークダイナミックスコンサルティング編著

[評価方法・基準] レポート、グループ演習並びにディスカッションへの参加状況、出席状況により総合的に判断する

T20000301

|  |                      |
|--|----------------------|
| 授業科目名: 技術者倫理                               |                      |
| 科目英訳名: Ethics for Scientists and Engineers |                      |
| 担当教員: (滝口 孝一)                              |                      |
| 単位数: 2.0 単位                                | 開講時限等: 後期金曜 5 限      |
| 授業コード: T20000301                           | 講義室: 自然新棟 マルチメディア講義室 |

#### 科目区分

2010年入学生: 選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

#### [授業の方法]

[目的・目標] 本講義の目指すところは、各技術分野における倫理課題の実例による議論を通して、企業の倫理的活動にまで理解を有する成熟した技術者の育成に資することである。

#### [授業計画・授業内容]

#### [評価方法・基準]

T20000401

|  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 授業科目名: 技術完成力プログラム                        |                                    |
| 科目英訳名: Ability to Complete in Technology |                                    |
| 担当教員: 藤井 知                               |                                    |
| 単位数: 2.0 単位                              | 開講時限等: 前期水曜 4 限                    |
| 授業コード: T20000401                         | 講義室: (講義室: ベンチャービジネスラボラトリー 3 階講義室) |

#### 科目区分

2010年入学生: 選択科目 S30 (T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

## [授業の方法]

[授業概要] 新製品を創出する技術完成力を身につけるため、実際の事例から、市場や技術トレンドを基にした研究～製品の課程における技術及び知財の課題やその解決に向けたマネジメント等について講義を行う。

## [目的・目標]

## [授業計画・授業内容]

## [評価方法・基準]

T20000501

授業科目名：技術経営力プログラム

科目英訳名：Ability to manage Technology

担当教員：井上 里志

単位数：2.0 単位

授業コード：T20000501

開講時限等：後期水曜 4 限

講義室：(講義室：ベンチャービジネスラボラトリー  
3 階講義室)

## 科目区分

2010 年入学生：選択科目 S30 (T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

## [授業の方法]

[授業概要] 新製品をもとに事業を発展させる技術経営力を身につけるため、マクロ・ミクロ経済学、企業経営理論、経営法務、生産マネジメント、情報システム、経営財務分析・評価、ベンチャービジネスマネジメント、中小企業経営他の講義等を行う。

## [目的・目標]

## [授業計画・授業内容]

## [評価方法・基準]